

関西吹連 NEWS

発行 関西吹奏楽連盟広報委員会
 発行所 530-8211 大阪市北区中之島 2-3-18
 朝日新聞大阪本社内 関西吹奏楽連盟事務局
 TEL 06-6202-1231 FAX 06-6202-7878
 URL <http://www.kansaisuiren.jp>

ごあいさつ

関西吹奏楽連盟

理事長 米田 正博



今年5月24日、25日に開催されました全日本吹奏楽連盟総会におきまして、丸谷明夫関西吹奏楽連盟理事長が全日本吹奏楽連盟の理事長に就かれる事となりました。これは関西吹連の長年の夢でもありましたので、大変素晴らしいことと喜んでいました。と同時に、丸谷先生には大変な仕事を引き受けていただくこととなりましたので、今まで以上にご苦勞をおかけしないように歩みを進めて行きたいと

思っています。

さてこの異動により、関西吹奏楽連盟理事会も新理事長を選出することとなりました。その結果、新理事長に、私 米田正博(滋賀県吹奏楽連盟理事長)が就任することとなりました。そして吉永陽一副理事長以下の他の役員につきましては、最小の変化に押さえるために前年通りといたしました。丸谷先生のお力には遠く及びませんが、皆様のご協力をいただき、関西吹奏楽連盟の理事長として務めて参りたいと思います。

全国の吹奏楽関係者からよく言われます。「関西の皆さんはとてもチームワークが良い。」「何でも話し合える雰囲気がすばらしい!」等・・・

その通りです! 理事会のメンバーのみならず、関西の各行事にご協力頂く各府県連盟の方々と

のチームワークはどここの支部にも負けません。「ナンバーワンよりオンリーワン!」 故松平正守先生の提唱された言葉、「勝つだけが吹奏楽ではない」の精神を胸に、生徒達の笑顔を目指して日々さまざまなご苦勞をいただいています。

いま吹奏楽は、諸先輩方のご努力のお陰で、大変なブームを迎えています。社会全体は少子化に向かっているこの時、吹奏楽は逆にまだ増加の傾向にあります。でもブームはいつか醒めます。吹奏楽に風が吹いているこの時にこそ、さまざまな行動を起こさなければと考えています。一人でも多くの子ども達の笑顔のために、また一生吹奏楽を通して音楽に親しむ皆さんのために、我々は努力を惜しまない覚悟です。どうか皆様の絶大なご支援とご協力をお願いいたします。

関西吹奏楽コンクールを終えて

今年は異常な暑さが続く夏でした。各参加団体もコンクールに向けての練習は、とても苦勞されたことと思います。ご苦勞様でした。特に熱中症との闘いは、来年度以降も続くと思われるこの暑さの中、ますます大きな課題になることと思います。

第63回関西吹奏楽コンクールは、「大学、職場一般の部」は8月18日に、「中学校・高等学校の部小編成」は翌19日に奈良県の橿原文化会館で開催されました。また、「中学校の部A」は8月24日に、翌25日に「高等学校の部A」が和歌山県民文化会館で開催されました。

前年の高等学校の演奏が、今年は中学校に!と思えるくらい表現力がアップして、高等学校もそれに輪をかけたような表現力アップの印象を強く受けました。暑さに負けないたゆまぬ研鑽の成果だと思います。すばらしい!

奈良県及び和歌山県の役員、補助役員の皆様には、大変ご苦勞をおかけしました。本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

(理事長 米田 正博)



早朝より冷房を入れていただいたにも関わらず、大阪市中央体育館は満員の観客を迎えて熱気でムンムンしていました。そんな中、関西各府県から推薦を受けた、高等学校以上の部 16 団体、中学校の部 34 団体、3 年連続出場での特別演奏 2 団体、総計 52 団体による第 41 回関西マーチングコンテストが開催されました。

吹奏楽コンクールとは一味違った応援(声援)が様々な方向から聞こえ、出場団体も出場直前に大声で気合を入れるなど、毎年の事ながら熱気と緊張、応援、拍手の入り混じった素晴らしい大会となりました。

関西マーチングコンテスト

関西大会は国内でも最古の歴史を持つだけに、そのレベルの高さは凄まじいものを感じさせてくれます。特にここ何年かの特徴として、動きの正確さは勿論のこと、吹奏楽サウンドを重視した、ステージの演奏と何ら変わらないサウンドが広いアリーナに響きわたっています。全日本吹奏楽連盟によってこの大会から 81 名という人数制限が設けられましたが、その影響をあまり感じさせないのは、このようなサウンド重視の演奏によるところが大きいのではないのでしょうか。

早朝から多くのお客様がお越し下さり、演奏・演技に惜しみない拍手や歓声を送っていただきました。関係者を代表して保護者の皆様、観客の皆様にご心より感謝を申し上げます。また、出演者の皆様も本当にお疲れ様でした。そして代表に選ばれた 9 団体の皆様の全国大会での健闘をお祈り致します。

(理事 山本 富男)

雑感「最近思うこと」

「近頃の若者は!…」と、いつの時代でも年配から聞く言葉だ。当然続きは「なっとらん」「やる気があるのか」等々否定的な言葉が連綿と続く。

さあ果たしてそうだろうか。確かにそういう者もいるだろう。しかし吹奏楽の世界を見てみると「近頃の若者は…」決して捨てたもんじゃない! とね。

コンクールやコンテストのステージのみならず、いろんな演奏会やイベント、大きい舞台小さい舞台にかかわらず、様々なステージに立って懸命に演奏する彼らのキラキラ輝く目や一途な姿は、未来の吹奏楽への光そのものだ。

さて、我々年配も「最近の年寄り…」の続きが「頼りないなあ」「口ばかりだ」…ではなく、「元氣だなあ!負けれないぞっ!」と言わせるくらい、まだまだ頑張ってる、若者とともにもっとワクワクドキドキするような、そして一人一人が光輝き、みんなが幸せになるような吹奏楽の世界を築いていきたいものだ。

(理事 山瀬 真美)

関西吹奏楽連盟理事の音楽に対する様々な想いをシリーズで紹介していきます。お楽しみに・・・